

経営比較分析表（平成30年度決算）

岩手県 平泉町

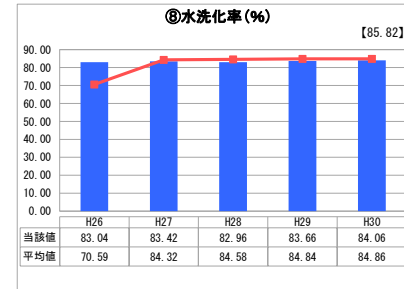
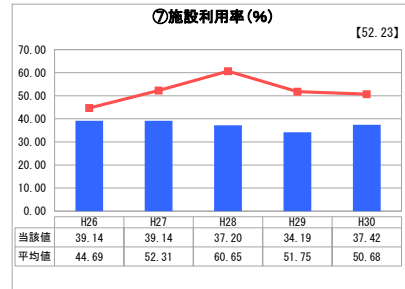
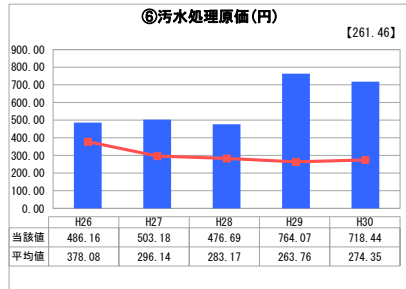
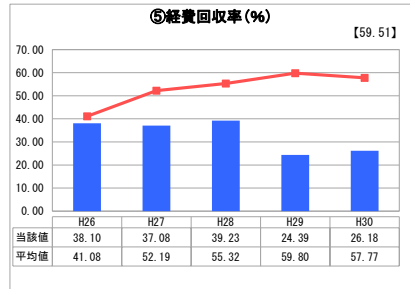
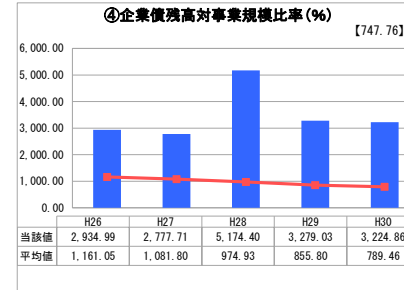
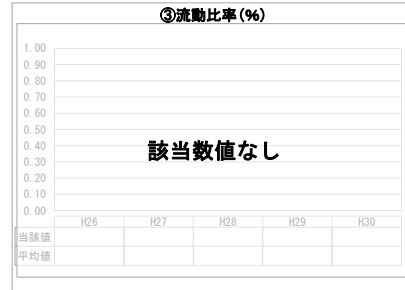
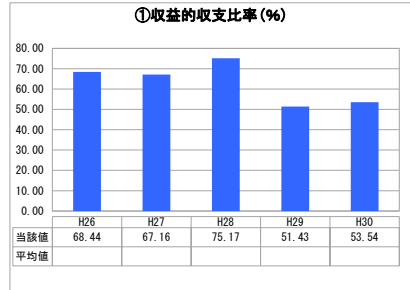
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	9.93	93.98	3,456

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,643	63.39	120.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
753	0.75	1,004.00

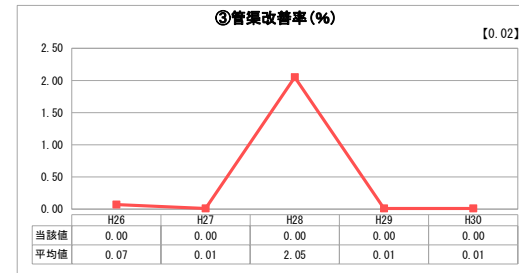
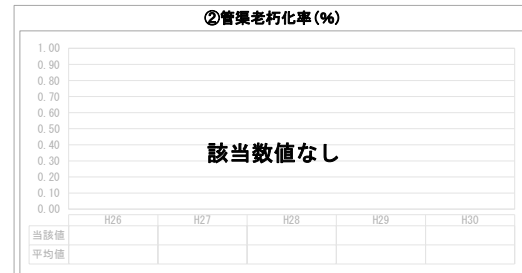
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・農業集落排水事業は、平成6年度に採択を受けて平成12年度から供用開始をしており、供用開始から18年経過しております。

①収益の収支比率：供用開始から18年経過し、建設投資時の地方債償還金が年々上昇していることにより、収益の収支比率が減少する予想ですので、施設の効率的な維持管理や計画的な建設投資等の費用を抑え、更なる経営の効率化、健全化を推進し、経営基盤の強化を図ります。

④企業債残高対事業規模比率：建設改良工事費用の財源のほとんどは企業債の借入で賄っており、平成7年度から平成30年度までに借入した899,800千円を現在償還中であることから、類似団体の平均値より高くなっています。資金的支出がある場合は、国庫補助金や起債を利用した上で、年度間の事業バランスを考慮し、資本費平準化債等を活用しながら、後年度に係る資本費の負担が偏らないようにいたします。

⑤経費回収率：処理人口が少ないほど施設整備に規模効果が働きにくくなるため、この指標は低くなる傾向があり、類似団体の平均値を下回っています。低い原因は、汚水建設費が高いことによるもので、収入不足分は、繰入金によって補填しておりますので、今後更なる経費の抑制及び使用料の適正化に向けて検討し、指標の向上に努めます。

⑥汚水処理原価：処理人口が少ないほど施設整備に規模効果が働きにくくなるため、この指標は高くなる傾向があり、類似団体より高水準であります。高い原因は、汚水処理に係る維持管理費と資本費が高いことによるものです。

⑦施設利用率：1日に施設で処理した汚水量の平均値を用いているため、指標は低くなっており、1日の最大汚水水量を考慮すると約80%となっております。

⑧水洗化率：類似団体に近似の値となっております。投資した資本から確実に使用料収入を得るため、更に乗替世帯へ積極的な普及啓発活動を行い、水洗化率の向上を図ります。

2. 老朽化の状況について

平成24年度に行った機能診断調査において、機械設備、通報装置、前処理部のコンクリート等の老朽化により、対策が必要な状況となっていることが判明しました。これに伴い、平成27年度～平成28年度の2箇年で、機能強化対策工事で機能低下の回復を行い、施設の強化及び長寿命化を図りました。

全体総括

公営企業会計（法適）移行を検討しながら、より詳細な経営内容を分析し、収入の確保、維持管理費の削減、料金改定等についての検討を行い、一般会計からの繰入金に依存しないような経営の健全化を図ります。

また、効率的な事業運営に向けて、近隣他団体と広域化・共同化について、引き続き検討していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。